

活動を支えてくれる人がいる



吉田浩樹さん(大堤)

旅で得られる成長や経験を広める活動をした際に、使わせてもらいました。場所を借りただけでなくフライヤー作りや告知の方法など、気軽に相談に乗ってもらえました。

ただのレンタルスペースではなく、人の優しさを感じられる場所だと思います。

仲間を増やす最高の場所

私の「音楽を発表できる場が身近に欲しい」という思いが実現できるように一緒に考えてくれた坂長に感謝しています。

これからは、坂長がもっと「人が集える場所」となるように、皆さんと一緒に頑張りたいです。



鈴木時夫さん(松並)

地域とのつながりを持てる場所

県外から引っ越してきたこともあり、坂長で開かれるイベントでたくさんの友達ができ、すごうれしかったです。

子どもが登下校で坂長の前を通ると、スタッフの皆さんに声掛けなどの見守りをしてもらえるので、とても安心しています。



池田さん一家(本町)



つくる・まなぶ・つながる

「お休み処坂長」から始まる 公共施設との新たなつながり方

みんなのやりたいを実現

気軽に相談できる人がいる

「〇〇をやってみたい!」という情熱を持つ人の思いを実現できるよう、後押しできる相談相手がいつでもお待ちしております。

地域や多世代とつながる

近隣自治会や学校などと連携したワークショップや講座を定期的開催し、地域の交流を深めるきっかけづくりをしています。

1人でも気軽に使える

1人でゆっくりと作業や仕事をしたいというニーズに応えるため、和室シェアスペース「+蔵」を開設しています。

自己実現ができる場所として

地域の人たちの交流の場や、にぎわいを創出するために設置された「お休み処坂長」。一昨年前から、自宅でも職場でもない第3の居場所(サードプレイス)となる仕組みづくりが始まりました。現在は、地域の人たちの思いを実現できる場所としてさまざまな活動が行われています。

これらの取り組みが評価され、茨城の地域資源や人々の持つ力と可能性をデザインしたモノゴトに送られる、茨城デザインセレクション2019テーマセレクション部門「茨城のチカラ」に選定されました。

まちのファンを増やすために

坂長では「〇〇をやってみたい」という思いを実現するために「タスククラス」という講座を開ける機会を作ったり、1人でも気軽に作業ができるシェアスペースを設けたりしています。

最近、坂長での体験をとおして自らが企画・運営し、新たな一歩を踏み出す人が増えていきます。このような主体性を持つ活動する「まちのファン」が増えていくことが、私たちのまちの豊かな日常をつくる礎につながります。

市民の皆さんの「やってみよう」という気持ちに寄り添い、自己実現のお手伝いをする坂長に新たな可能性を感じます。